

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	040500	TEL	2998-9124
事業コード	埼玉県里親会所沢支部補助金	担当部課	保健福祉部 子ども支援課			
040508		グループ	相談・援助担当			
補助開始年度	昭和 45 年度	終了予定年度	平成 年度			

根拠法令	所沢市補助金等交付規則							
分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画							
関連・類似事業	所沢地区里親会補助金交付事務							
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	2 子育て家庭への支援	小柱	(1) 地域における連携の充実
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	ユニバーサルデザインの推進			コード	コード			
1311								
補助開始の背景	児童福祉法に基づく里親制度の発展のため、里親団体の育成が求められていた。							
補助の目的	里親制度の向上発展を図り、児童福祉の増進に寄与することを目的としている里親会の活動を助成するため、補助金を交付している。						団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	①県里親会、同所沢支部の事業への参加 ②会員の研修 ③レクリエーション活動 など						単位	

③ 経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		30	30	30
	補助額決算 (見込み含む)		30	30	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.04 人	0.04 人	
	事業費合計		398	406	
	市民一人当たり(単位:円)		1.2	1.2	

④ 指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	団体活動実績	補助金の交付	補助金額	円	30,000	30,000	30,000
標	成果分析	活動件数	年間活動件数÷目標件数 ※実績報告受領後 記入	目標値	57		
				実績	55		
			%	達成率	96.5		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1

⑤ 一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	H 20	目標項目	里親制度の認知度向上	達成水準	市ホームページ等で制度内容の周知	時期	年度内
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)		県組織の支部への負担金的要素の強い事業であり、一定の基準のなかで額が決められている状況にあるため、予算の変更は難しい。ただし、事業の内容から、市の補助がなくても運営できる組織であることが伺えるため、基準の見直しについて、県へ働きかけていく必要はある。					
評価日		平成20年6月6日					
記入者職氏名		子ども支援課長 黒澤潤子					

⑥ 二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦ 個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り		計画コード	3122
	基本目標	3 子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります			
主要課題	1 子どもたちの人権と権利の保護				
施策の方向	2 児童虐待防止の取り組み				